

### 議事進行・記録:B班

運営委員: A班-東(自然保護協会)、篠原(宝塚家族会)、大西(手話さわやか)、欠(一致バラバラ)(うらら宝塚)

B班-榎本(個人)、中下(エリアナウス)、欠(おもちゃの診療所)(ゆめふうせん)(つながりづくりネット)

C班-三島(個人)、出口(テープライブラリー)、中小路(個人)、高原(情報ボラネットワーク)、欠(絵芝居研究会)

D班-原(ランチボックス)、油井(個人)、太田(おあや座)、岡田(専心会)、佐々木(武庫川流域連携)

E班-村中(個人)、小島(6地区民児連)横山(三線ていんがーら)、松崎(歌楽多笑一座)、山本(武庫川ネットワーク)

参加: 岡本(公財プラザ・コム)、沼田(ボラセン)、稲田、金子、平山

### <<連絡・報告>>

#### 1.宝塚福祉コミュニティ連絡会について(三島)

添付資料①

#### 2.受付ボランティア会議について(榎本)

添付資料②

#### 3.会則ワーキングチームの結成について

締切日までに応募された9人(運営委員?人+会員?人)で発足、方針は会則の根幹(基本方針)の変更はしない、「実情と合っていない文言の修正する」。ワーキングチーム発足後も関心がある人が追加参加できるようにして欲しい、議論経過の情報提供に努めて、内容について意見を受け付けるようにして欲しいという提案があった。追加参加が可能にするかについて議論されたが、定員10名程度のワーキングチームにする予定で、人数が増えすぎるとまとまりがつかない、追従参加の人が議論についていけないのではとの意見があり、発足メンバー9人を中心に進めるが、会議にオブザーバー参加や、メンバーに対して意見を伝えて欲しいとなった。

#### 4.福祉コミュニティプラザ内の掲示板について・館内放送について

添付資料③④

#### 5.運営委員会の日時の確認について

→毎月10日13:30~15:30

#### 6.一斉送信マニュアルを作成しました(原)

添付資料⑤ 操作画面の例を掲載していますので見ながら行えば簡単にできますと説明があった。

#### 7.ボラセンより

添付資料⑥

#### 8.財団より(岡本)

添付資料⑦ ぷらざこむ1の建物が建築後20年以上経過して、設備(消防設備、照明など)に不具合がでてきている、これからも修繕や取替が増えることになると説明があった。

### <<承認>>

#### 承認を進める前に(東)

こむ1会としての「承認する方針」を確認しあいたいと思う、利用申請が「利用して欲しいから門戸を開き、申請を受け付けているので、目的や内容が利用要件に沿っているかを審議するのだが、利用促進につながるように申請内容に不明点があれば問合せをしたり、再考の余地を与えながら進めていってはどうか。利用をしてもらいたいという前向きの気持ちで審査するのと、否定的な考えで審査するのでは、結果が変わってくると思う。こむ1会の運営委員の一人としての立場に相応しい審議をして欲しいと思う」と提案があった。

### 1.3 階フリールーム承認について

参考資料⑧⑨(これは3階フリールームで使われる方への注意書きです。)

注意書きの文章内の文言(避難場所はガーデンニング広場)が作成時期によって不統一だったので、修正します。登録グループ以外が、「3階フリールーム」申請する時は、利用申請書にかいてある利用審査基準「利用条件…利用目的が、社会的課題に取り組む内容であること。」に則しているかを審議しますとの説明が議事進行からあった。

#### 利用申請の承認審議(1件)

添付資料⑩→「美人ママ……」は、承認理由になった活動内容・目的を簡潔に説明、承認された。活動内容は記載あるが、活動目的(講演会を開催する目的)が記載されていないよう思うので、2回目の11月の開催時までに関合せをしてみてもどうか、との意見があった。

### 2.ふらっと☆ぷらざへの新規参入承認について

添付資料⑪

新規参入承認は販売収入の使徒がグループの活動費と記されていた事に、(公財)プラザ・コム(岡本)より館内での登録グループの活動費目的の物販は認めていない。フェスティバルなどのイベントに限り許可していると説明を受けました。この新規参入申請は差し戻しとなりました。

### 3.備品の購入提案について

添付資料⑫説明のみ、次月持ち越し

#### <<議案>>

#### 1.今後の事業計画について

##### a)外部会議出席に関して(榎本)

こむ1会が参加するようになった経緯は、

(公財)プラザ・コムの「すべての人にとって暮らしやすい街や社会を、市民の手で、実現していく」の理念の元基に集まったボランティアグループであり、尚且つこむ1会の目的「本会はぷらざこむ1のコミュニティづくりに参画し、ボランティア活動を通じて、誰もが住みやすい街や社会づくりに寄与することを目的とする」セルフヘルプグループやまさに社会福祉であるグループをはじめ様々なボランティアグループの集合体は他にないから

と、説明があった。説明のみ、次月持ち越し

##### b)e)ワーキングチームの提案(東)

運営委員会で会議すべきことが、いま多くあって会議が2時間以内で収まらなくなっているのに、ワーキングチームの仕組みを活用して効率的に、こむ1会の運営を進めていってはどうか。運営委員会による発起に限らず、自由に有志によるワーキングチームの立ち上げを、後押しする運営委員会にしてはどうか。例えば、大掃除、広報誌、ホームページ更新などの事業に、意欲のある有志が同士を募ってワーキングチームを立ち上げて活動を開始してもらい、運営委員会に「たたき案」を出してもらったり、作業をしてもらったりするという提案があった。説明のみ、次月持ち越し

##### c) 外部からの依頼等の窓口について(東)

こむ1会以外からの依頼を受ける窓口についてそれぞれの種類(例えば、施設見学の担当、〇〇会議の担当、利用申請の担当など)担当者やワーキングチームがあれば良いのではないかと？前回の提案は、運営委員会の班で月ごとに輪番で担当するので、班の仕事する趣旨だったのだが、担当者が輪番で変わるよりは、仕事内容ごとに担当を固定する方法もあるとの提案があった。どんな窓口業務があるのかわからないので今までどんな事があったか示して欲しいとの意見があった。説明のみ、次月持ち越し

次回連絡会議は3月27日(土)10:00~12:00 議題提案等はこの日までに提出をお願いします。

次回運営委員会は4月10日(土)13:30~15:30 3階フリールーム(担当:C班)